

教育いばらき

特集 部活動の地域移行の進捗

—子どもたちの豊かな活動を支えるために—



教育長
柳橋常喜

加速度的に進む人口減少をはじめ、デジタル化やグローバル化の進展、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会は激しく変化しています。これからの時代を生きる子どもたちには、他者と協働して課題を解決する力や、学んだことから新たな価値を創造する力を身に付け、様々な変化に柔軟に対応することが求められます。また、人口減少による人手不足が顕著となる中においては、質の高い教員の確保や働き方改革も大変重要です。

県教育委員会では、いばらき教育プランに基づき、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、各種教育施策に取り組んでいるところです。

施策を進めるに当たりましては、学校・家庭・地域のつながりや協働が重要です。今後とも、それぞれの立場から、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

アンケートにご協力ください(回答期限 6月30日)

『教育いばらき』をよりよいものにするため、アンケートを行っています。

ご回答いただいた方の中から、抽選で10名の方に

「サンリオ展 『ニッポンのカワイイ文化60年史』」(茨城県立歴史館)のペアチケットをプレゼントします。

ご意見お待ちして
います！



部活動の地域移行の進捗

－子どもたちの豊かな活動を支えるために－

【 背 景 】

本県でも、少子化の進行や合同チームの増加により、これまでの部活動では、生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保することが難しく、各市町村で部活動の地域移行の取組を開始しました。

【 目 的 】

地域移行を通して、子どもたちが望む活動を選べるような多様な選択肢を用意し、豊かなスポーツ・文化芸術活動を創造し、心身の健やかな成長を支えるための環境整備に取り組んでいきます。

【 取 組 】

指導者の確保など地域の課題に応じた支援が必要となるなかで、各自治体間での地域移行へのビジョンの共有や関係者間の連携強化、指導者確保のために「茨城県地域クラブ活動人材バンク」を設置するなど、市町村や地域クラブと指導者をマッチングできる体制を構築しました。

生徒・保護者の声

生徒の声

- ・専門的な指導により、上達のスピードが上がった
- ・これまで活動できなかったことにも挑戦できた
- ・他校の生徒や地域の人との交流が以前よりも増えた



保護者の声

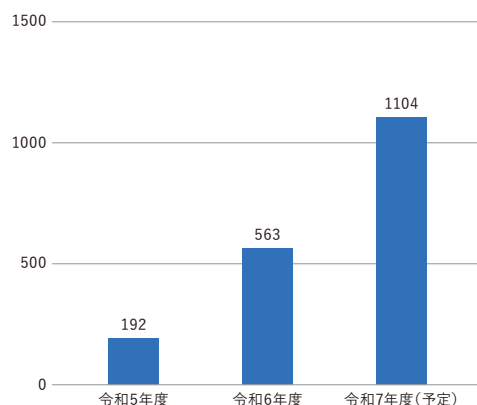
- ・子どもたちが挑戦する姿を見ることができる
- ・子どもたちの志向により、活動を選ぶことができる
- ・子どもたちの選択肢が増えた
- ・保護者の負担が増えた



【 進 捗 】

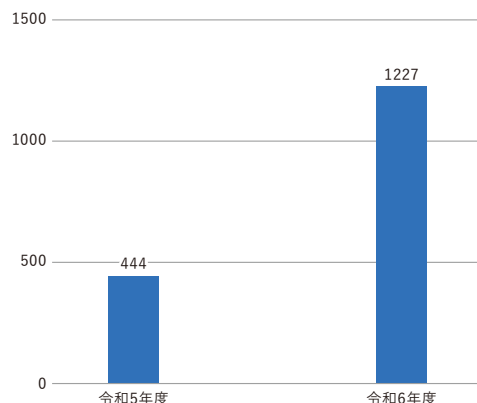
令和7年度は、県内中学校の運動部の約52.6%にあたる1104部で地域移行に取り組む予定です。

地域移行に取り組む 県内中学校の運動部の推移



令和6年度は、バレーボール、柔道、バドミントンなど18競技、102団体、1227名の選手が地域クラブ活動から中体連大会に出場しました。

地域クラブ活動から中体連大会へ 出場した生徒数の推移



競技経験者による指導を受ける生徒たちの様子
的確な指導が生徒たちの技能を伸ばします



クリニック(技術指導)の様子
高校生との交流や指導方法の確認の場になります



地域クラブの交流大会の様子
地域クラブ活動が生徒たちの交流の輪を広げます

担当課 教育庁学校教育部保健体育課競技スポーツ・地域移行担当 TEL：029-301-5361

担当課 教育庁学校教育部義務教育課文化部活動担当 TEL：029-301-5226

各市町村の取組



各市町村の
取組を紹介
しています。



文化部活動
地域移行
レポート



土浦市 持続可能な環境を目指して

市の教育委員会が主導して地域クラブ「Blue Ocean」を管理する任意団体を立ち上げ、地域・学校・行政の連携体制を整えました。その特徴を活かし、部活動の地域移行をテーマとした「Blue Ocean スポーツフェス 2024」を開催し、持続可能なスポーツ・文化芸術活動の創出に向けて、地域の幅広い世代や団体等が交流できる機会を確保する取組を行いました。



神栖市 地域を超えた指導のカタチ

市内での対面実施にとらわれず、オンライン指導による指導者不足の解消や地域や環境条件に左右されないスポーツ体験機会をつくることを目指し、指導者が不足しているバレーボールのオンライン指導に取り組みました。

生徒たちが専門的な指導を受けられることに加え、地域の指導者にとっても指導方法や理論の確認の場になりました。



美浦村 地域の特色を活かして

馬とのふれあいや馬業界で働く人との交流を行う「美浦ホースクラブ」、お囃子の練習やお囃子による地域貢献を行う「美浦村木原霞囃子(きはらかすみばやし)」などの部活動の種目にとられない地域人材による豊富なスポーツ・文化芸術活動を整備し、地域の文化を身近に感じることができるよう取組を行っています。



高萩市 市民吹奏楽団との連携

高萩市民吹奏楽団との連携により、同団の事務局から推薦された団員が、各パートの指導員として、生徒の楽器演奏指導を行っています。

市民吹奏楽団の活動に過度な負担がかからないよう工夫しながら、指導にあたる団員、他の団員と共に地域イベントで演奏することで、地域と一体となった音楽活動を展開しています。

茨城県地域クラブ活動人材バンク

皆さんの経験や知識を活かし、子どもたちのために、地域クラブで指導してみませんか



登録はこちらから

登録

応募

マッチング

面談

指導
開始

令和7年度に実施する事業の紹介

県教育委員会では、県教育行政の基本方針となる「いばらき教育プラン」（計画期間：令和4年度～令和7年度）に基づき、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、時代のニーズに合わせた様々な事業に取り組んでいます。

今回は、県教育委員会が令和7年度に実施する新規事業や拡充事業などをいくつか紹介します。

次世代を担う
「人財」

魅力ある
教育環境

学び・文化・
スポーツ・遊びを
楽しむ茨城

自分らしく
輝ける社会

小学校口腔衛生推進事業

むし歯予防に効果があるフッ化物洗口について、業務に携わる教員業務支援員の配置に係る経費を補助することにより、小学校における実施を推進します。併せて、児童の見守り業務などを教員業務支援員がサポートすることで、教員の業務負担の軽減を図ります。



洗口液を配る様子

（仮称）神栖特別支援学校整備事業

神栖市内から長時間かけて鹿島特別支援学校に通学する児童生徒の心身の負担を軽減するため、神栖市内への特別支援学校の整備を進めます。



整備イメージ

外国人児童生徒日本語教育支援事業

公立小中学校に日本語指導が必要な外国人児童生徒を円滑に受け入れるための体制強化を図ります。



日本語支援の様子

運動部活動地域連携再構築事業

生徒に望ましいスポーツ環境を構築するため、部活動の地域移行を推進します。また、部活動指導員の派遣等を行うことで教員の負担軽減を推進するとともに、スポーツ医科学の専門家の派遣を通して、部活動運営方針に則した運営体制を構築します。



地域クラブ活動の様子



県教育委員会が実施する施策については、県教育委員会ホームページでも紹介しています。詳しくは、こちらをご覧ください。▶



令和7年度 茨城県子どもの相談窓口〈保存版〉

～県教育委員会では、児童・生徒や保護者などの方を対象とした下記の相談窓口があります～

小中高生のみなさんへ

あなたの名前は言わなくても大丈夫！

学校のこと、家のこと、友だちや先生のこと、いじめのこと、勉強や進路のこと、どんなことでも困ったり悩んだりしたら、まず相談してください。あなたのひみつは守ります！



いばらき 子どもSNS相談

WEB
LINE



子ども ホットライン

でんわ
メール

毎日
17:00～22:00

家ぞくや友だちには言えないような悩みもチャット形式で気軽に相談できます。

▼チャット



▼LINE



365日
24時間受付

時間を気にせず、すぐに電話で話すことができます。メールでも相談できます。

029-221-8181

0120-0-78310※

☐ kodomo@edu.pref.ibaraki.jp

☎ 電話は非通知（184）でもつながります。

※フリーダイヤルは24時間子供SOSダイヤル経由でつながります。

▼特設サイト



いじめなくそう！ネット目安箱

電話で相談できます。メールフォームは名まえを入れなくても送信できます。

でんわ

月～金 9:00～17:00
(土日祝日、年末年始を除く)

メール

365日 24時間受付

いじめ・体罰解消
サポートセンター
HP▶



児童・生徒、保護者や教職員など

専門の相談員があなたの声に寄り添います。

こどもの教育相談

不登校や情緒不安など



電話相談

TEL 0296-71-3870

月～金 8:30～20:00

土 8:30～17:00

(休日、12/29～1/3を除く)

来所相談(要予約)

TEL 0296-78-3219

月～金 9:00～16:30

(休日、12/29～1/3を除く)

☐ 7830@center.ibk.ed.jp

発達が気になる こどもの教育相談

こどもの発達について

電話相談・来所相談(要予約)

TEL 0296-78-2777

月～金 9:30～16:30

(休日、12/29～1/3を除く)

いじめ・体罰解消サポートセンター

いじめや体罰などで悩んでいたり、困っている人がいるときは…

電話相談・来所相談

県央地区 TEL 029-221-5550

県北地区 TEL 0294-34-4652

県西地区 TEL 0296-22-7830

月～金 9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

鹿行地区 TEL 0291-33-6317

県南地区 TEL 029-823-6770



茨城県教育委員会
Ibaraki Prefectural Board of Education

今回は新学期に関するご相談です

〔 家 庭 教 育 相 談 〕

クラスになじめない我が子

Q 我が子は、新学期になるとクラス替え等の変化になじめず、元気がなくなってしまいます。「慣れるまで時間がかかるかもしれないけど、きっと大丈夫」と伝えていますが、どのような関わりがよいのでしょうか。

(小学校4年生の保護者)

A お子さんを温かく見守っていることが伝わってきます。新しい環境になじむのは大人でも簡単なことではないと思います。

まずはお子さんの気持ちを聴き、受け止めることが大切です。もし、気持ちが言葉にならない時には、

「クラスで友達と仲良くできるか心配なのかな」のように、お子さんの気持ちを言葉にしたり、「話してくれてありがとう」と感謝を伝えたりしましょう。

その上で、「これまでどうやってクラスに慣れてきたのかな」のように、お子さんの話を聴き、できていることを認めることで、お子さんも前向きになれるのではないのでしょうか。

お子さんの気持ちを聴き、寄り添う関わりを大切にしながら成長を支えていってください。

(こどもの教育相談・相談員)

電話相談 ☎0296-71-3870

教えて先生!

新しい学び 「ラーケーション」



これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、自己の在り方や生き方を考えるためには、家の人とゆっくりと話をする時間も大切です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめる良い機会になります。児童生徒が保護者と一緒に、また生徒自身がそのような時間を取りることができるよう、茨城県が設定したのが**年間最大5日間**の「ラーケーション(体験活動推進日)」です。「ラーケーション」は、「ラーニング」(学習)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、学校外での体験活動や学びを目的としています。

- 「ラーケーション」を取得した場合、欠席にはなりません。
- 「ラーケーション」は、連続して取得することも分散して取得することもできます。限度は年度内に5日間です。残った日を次の年度に繰り越すことはできません。

令和7年度より
茨城県内の
全44市町村が導入!

ラーケーション活用状況 (2024.4.1 ~ 2025.1.31)

小中等	小学校	中学校	義務教育学校	計 (件)	特支	小中学部	高等部	計 (件)
1月末	31,997	8,461	1,887	42,345	1月末	248	101	349
高校等	高等学校	附属中学校	中等教育学校	計 (件)	※県立特別支援学校は 2024.9.2 ~ 2025.1.31			
1月末	11,713	327	587	12,627				



活用事例

- (小中等) ○漁業体験 ○研究所巡り ○水族館のバックヤード見学
○母の出産の立ち合い ○親の職場見学(病院、工場) ○ホノルルマラソンへの参加
○アメリカやニュージーランドへの語学研修、ホームステイ体験
- (高校等) ○志望大学の研究室訪問 ○ボランティア活動への参加 ○小学校での教員体験
○学会への参加 ○探究活動に係る市役所や企業等での取材
○グアムでの民族舞踊イベントへの出演
- (特 支) ○公共交通機関の利用練習 ○福祉施設等見学
○兄弟姉妹が出場する大会等の応援 ○世界遺産見学 ○市民講座への参加
○美術館での芸術鑑賞

児童生徒・保護者の声

- 【児童生徒】 ・平日にしか開催されないイベントに参加し、貴重な経験ができてよかった。
・久々に家族で揃ってじっくりと将来の話をすることができた。
・学校では体験できないことが家族と体験できてよかった。
・親が働いている様子を実際に見ることができ、家族との絆が深まった。
- 【保護者】 ・家族で日程を合わせて体験活動ができる有意義な制度だと思った。
・子どもと研鑽の時間を共有しようという意識改革につながった。
・5日間取得できるため、海外で体験活動を行うことができた。
・子どもとじっくりと向き合う時間ができた。
・土日の混雑時ではなく、平日に子どもが様々な体験をすることができ、ありがたかった。



ラーケーションの申請方法などについては、各学校へお問い合わせください。

(県立中学校、県立高等学校、県立中等教育学校、市町村立小中学校及び義務教育学校、県立特別支援学校が対象です。)



茨城県ホームページには、各校種ごとにラーケーションの記事が掲載されています。

茨城県教育委員会 HP



Information

家庭教育応援ナビ『すくすく育ていばらきっ子』

「家庭教育応援ナビ」には、子育てや家庭教育のヒントが満載。Q&Aや動画、マンガがおすすめです!ぜひ、ご覧ください!



☎ 教育庁 生涯学習課

家庭教育応援ナビ

公式X

就学前教育・家庭教育推進室 電話 029-301-5132

博物館に 行って みよう!

特別展

サンリオ展

—ニッポンのカワイイ文化60年史—

会期:7/19(土)～9/15(月・祝)

[information]

茨城県立歴史館

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料 入館料については、後日発表します。

当館ホームページ等

でご確認ください。

問い合わせ先 029-225-4425



県立歴史館においてサンリオ展を開催します!!

これまでに多くの人気キャラクターを生み出してきたサンリオ。ハローキティをはじめ、これまで世に送り出されたキャラクター数は450以上を数えます。本展は、60年を超えるサンリオの歴史をたどりながら、グッズやデザイン画など貴重な資料が一堂に会する、本県では初開催となる展覧会です。時代を超えて愛され続けるキャラクターの魅力を深掘りし、今や世界の共通語ともなった「カワイイ」文化を読み解いていきます。

サンリオキャラクターが大集結!!

有名なキャラクターから今では懐かしのキャラクターまで、会場に大集合。

「サンリオ展」の見どころ&おすすめポイント♪

●「カワイイ」文化のルーツを探る

日本から世界に発信されていく「カワイイ」文化は、昭和の時代にどのようにして生まれたのか?

いまや身近になった「カワイイ」という言葉。しかし、数十年前までは大人がキャラクターグッズを持ち歩くなどまだまだ考えられなかったのです。

●ハローキティブームの本当の意味合いとは?

ハローキティを通じて、長く愛され続けるキャラクターのヒミツを探ります。

●オリジナルキャラクターが生まれた背景は?

アーティスト性はいらない?作家性を排除したデザインとは?ストーリーをもたないキャラクターに人気が出るのはなぜか、その謎に迫ります。

●オリジナルグッズも販売多数!!

サンリオ展での限定発売となるオリジナルグッズも登場。販売商品は予告なく変更される場合があります。また、売り切れの際はご容赦ください。

60TH ANNIVERSARY SANRIO EXHIBITION THE BEGINNING OF KAWAII

永遠の「カワイイ」は
ここからはじまった——
サンリオ創立60周年の大博覧会開催!



サンリオ展
ニッポンのカワイイ文化60年史

© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. SP650823

子供から大人までお楽しみいただけます。

本県では初開催となる「サンリオ展」を
是非お見逃しなく!

皆様のご来館をお待ちしています♪

●撮影OK!!

会場内は撮影可能。「#サンリオ展」をつけてSNS等に投稿してください。

※フラッシュ撮影はお控えください。

※他のお客様のご迷惑にならないようご配慮ください。

※三脚、セルフリースティックのご使用はご遠慮ください。

※他のお客様が写り込まないようにご配慮ください。

美術館・博物館 のご案内

●最新の開館情報はホームページをご覧
いただくか各館へお問い合わせください。

イベント情報

県教育委員会ホームページでは、最新
の各館企画展および教育に関する
イベント情報などをお
知らせしています。
ぜひ、ご覧ください!!



▶最新のイベント情報はこちら

茨城県自然博物館

企画展 恐竜とともに生きた生物たち —ぼくらは脇役じゃない—
7月5日(土)～9月15日(月・祝)

恐竜時代のさまざまな生き物について、化石を通してご紹介しします。植物や昆虫、哺乳類などの陸上生物の化石だけでなく、海に生息したアンモナイトや首長竜、貝、魚などの化石も展示します。研究者になった気分です実際に化石に触れたり、化石の分類に挑戦できる体験コーナーもご用意します。ぜひお楽しみください!



◀エンコーダス
(白亜紀の海に
生息した硬骨魚類)
寄贈:茨城県教職員互助会

☎0297-38-2000

茨城県近代美術館

☎029-243-5111

企画展 旅にまつわる絵とせとら
7月16日(水)～8月31日(日)

茨城県つくば美術館

☎029-856-3711

土曜講座 第4回「再興院展110年の歴史」
7月12日(土) 13:30～15:00

茨城県天心記念五浦美術館

☎0293-46-5311

企画展 再興第109回院展 茨城五浦展
6月21日(土)～7月21日(月・祝)

茨城県陶芸美術館

☎0296-70-0011

企画展 THE HEADLINERS 2025
7月12日(土)～11月30日(日)

みんなで読んでみよう

おしえて ふれあちゃん!

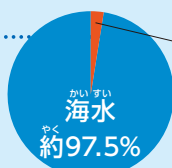
テーマ

『いばらきの水道水』

今回は、ふれあちゃん・いばかっぱと一緒に、みんながいつも使っている水道の水について調べてみよう!

◆地球上の水資源◆

じつは地球上の水資源はほとんどが海水!地球上で飲み水として利用できる淡水は、たった**2.5%**なんだ。そのうち直接使える川や湖、沼などの淡水はわずか**0.01%**しかないよ。



淡水 約2.5%

意外と使える水は少ないんだね

茨城県企業局
水道キャラクター
いばかっぱ

水道水が届くまで

茨城県企業局浄水場
(県内10か所)

那珂川・酒沼川・
利根川・鬼怒川・
霞ヶ浦・北浦

水源

川や湖の水には目に見えない細かいゴミや細菌が多く含まれているよ。浄水場では、これを取り除いて安全できれいな水にしているんだ。

市町村の配水池



点検・監視
水質検査など



水道利用者

異常がないかを常に点検・監視
水道水の流れている量や水圧が適切か、どこかで水が漏れていないか、コンピューターをつかって監視をしています。

水質の検査
原料となる水源(川や湖)の水やできあがった水道水に問題がないか定期的に検査をおこなっています。

茨城県教育委員会
マスコットキャラクター
ふれあちゃん

いつでも清潔な水道水が使えることは「当たり前」じゃないんだね!

◆親子水道教室◆

親子で水道について楽しく学べる水道教室を開催するよ。
ぜひ、この機会におうちの人と参加してね!



▲昨年の様子(施設見学)

わあ、私も行ってみたいな

楽しいよ

日時:10月25日(土)
9:30~13:00
対象者:小学校3~6年生とその保護者 25組50名
場所:茨城県企業局
県中央水道事務所
(那珂市豊嶺685)
内容:浄水場見学、水質浄化実験、水道に関する相談・質問コーナー など
参加費:無料

※参加には事前応募が必要です。募集開始は9月頃を予定しています。(企業局HP上でご案内します)

◆おしえて ふれあちゃん! 特別編◆

Q 水道水をそのまま飲むことができる国っていくつあるのかな?

こたえは…9か国

水道から水をそのまま飲める国は、日本を含めて、じつはたったの9か国しかないんだね。

出典:「水資源に関する国際的な取組」(国土交通省)より



▶特設ページ

いばらきの水源や浄水場の仕組みなどについて紹介しているよ
もっと知りたくなったらぜひウェブサイトアクセスしてね!

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。この広報紙の制作費用の一部を広告収入でまかなっています。

広告

報恩感謝

医学コース

過去10年で149名の医学部医学科の合格者が出ています。(2016年~2025年)2025年7名

医学コース第1期 中学3年・高校1年

医学コース第2期 高校2年・高校3年

※高校からの入学生にも対応しています。

創立100周年記念PR動画はこちら

国際教養コース

コース生全員に長期留学(約半年間)を課すことにより、高い英語力を養います。また、自立心を養成し、総合的な人間力を培います。

2024年度から、舞台とタッグを組み、atama+ (アタマプラス) スタディーホールを立ち上げました。個々に合わせて苦手克服が可能なデジタル教材atama+ (アタマプラス) や、全国の指導者と瞬時にマッチングして指導を受けられる質問システムmanabo(マナボ)などをフル活用した、最先端の学びが学校内で実現します。

茨城中学校・茨城高等学校

水戸市八幡町16-1 TEL.029-221-4936 <https://www.ibaraki-jsh.ed.jp/>